

エコアクションキャンペーンに応募しよう!

新潟市ではエコアクションキャンペーンを開催しています。7月～9月のエネルギー使用量(電気とガス)を専用はがきに記入して応募すると、「季節の野菜詰め合わせ」や「白根ポーク」「マグカップ」などが、合計300名に当たります。さらにはずれた方にもWチャンスとして、「ステンレスマイボトル」が200名に当たるとのこと。

まだ、このキャンペーンは市民に浸透していないので当たる確率が高いですよ!

詳しくは新潟市環境政策課(025-226-1363)まで。

健康づくり教室やイベントに参加することで景品がもらえる「にいがたし健幸マイレージ」も同時開催中ですので、そちらもオススメです!

「Eco列車でいこう!」～第85回 新潟-川崎 のんびり旅～ (CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)

7月のとある土曜日のこと。神奈川県川崎で15時から会合が開催されることになった。12時前後の新幹線で向かえば十分に間に合うのだけれど、今回は、のんびりと普通列車を乗り継いでいくことにした。

新潟発7:06 発長岡行。まずは信越本線の電車に乗る。この区間は100回以上乗っているのに、車窓を見ていてもワクワク感は少ない。「新津」「加茂」「東三条」「見附」を通過して8:23に長岡駅についた。この列車は13分の待ち合わせの後、上越線水上行になる。

小千谷付近に差し掛かると信濃川が見えてくる。やはり川や海が見える路線は楽しい。飯山線の乗換駅「越後川口」、只見線の乗換駅「小出」を通過する。名産のスイカが名高い「八色」を過ぎると、「浦佐」である。乗車から2時間以上経過して、まだ浦佐だ。新幹線なら東京に着いている頃だろう。

日本最高峰のコシヒカリの里をのんびりと走る。山があり、川があり、閑散とした車内の居心地は良い。「越後湯沢」を通過すると山峡に差し掛かり、心なしかヒンヤリする。国境の長いトンネルを抜けて、群馬県に入った。

水上は言わずと知れた温泉地であるが、かつては鉄道の要所としても栄えた。駅弁も種類豊富で、「栗めし」や「岳(やま)の釜めし」が発売されていた頃が懐かしい。新幹線のルートから離れた現在、駅弁売りの姿はない。

「沼田」「渋川」などの駅を過ぎて高崎に到着したのが、11:38。あわただしく食料を買い込んで、11:48 上野東京ライン熱海行きに乗車した。この電車にはグリーン車が連結されており、これに乗車するのが楽しみであった。土曜日のグリーン料金780円で川崎までの2時間20分をゆったりと過ごすことができる。ちなみにグリーン車にはアテンダントが乗務していて、お菓子や飲み物を購入することも可能だ。

少し前までなら、上野で乗り換えとなるところだが、この電車は「上野」「東京」に停車してそのまま東海道線に乗り入れる。都心での乗り換えが無いのは大変ありがたい。

14:05に目的地「川崎」に到着した。ちょうど7時間の旅だった。15時からの会合を済ませた後には、横浜スタジアムで野球を見ようと思っ
ている。観戦チケットは事前に購入済みだ。球場で飲むビールが楽しみである。

